

リシケシ&ウッタラカーシー・アシュラム ～ ガンゴトリ聖地巡礼の旅

遠藤風琴



秋晴れや友と印度へヨガの旅

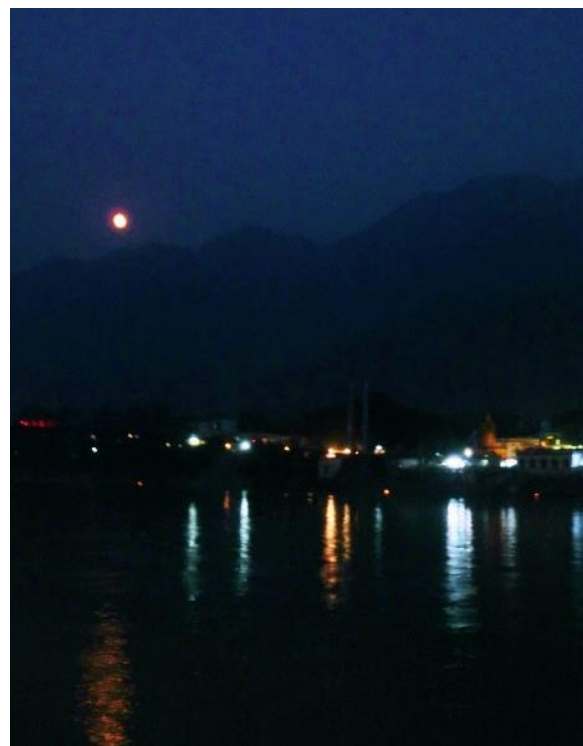


悠久のインドの夜明け霧深し



ガンジスは母なる大河霧の中

ガンジスの源流清く月赤し



サリー着て秋のガンガに沐浴す



マントラの堂の響ける秋の暮

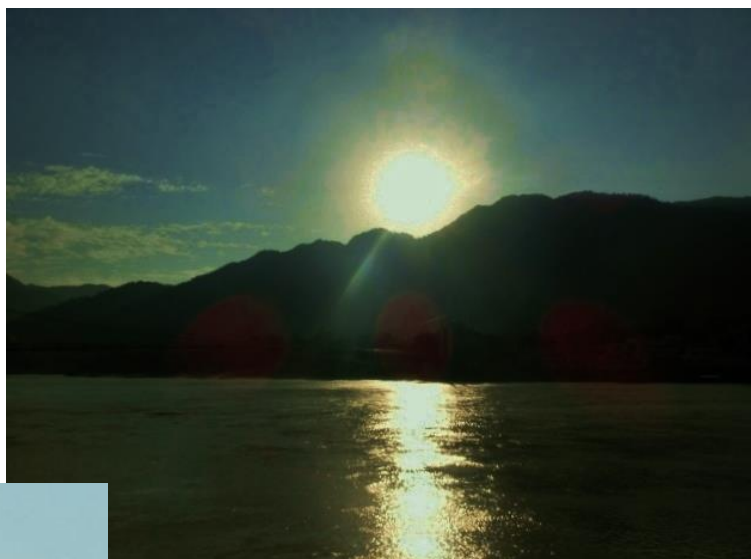
祈り終へ月光の橋渡りゆく



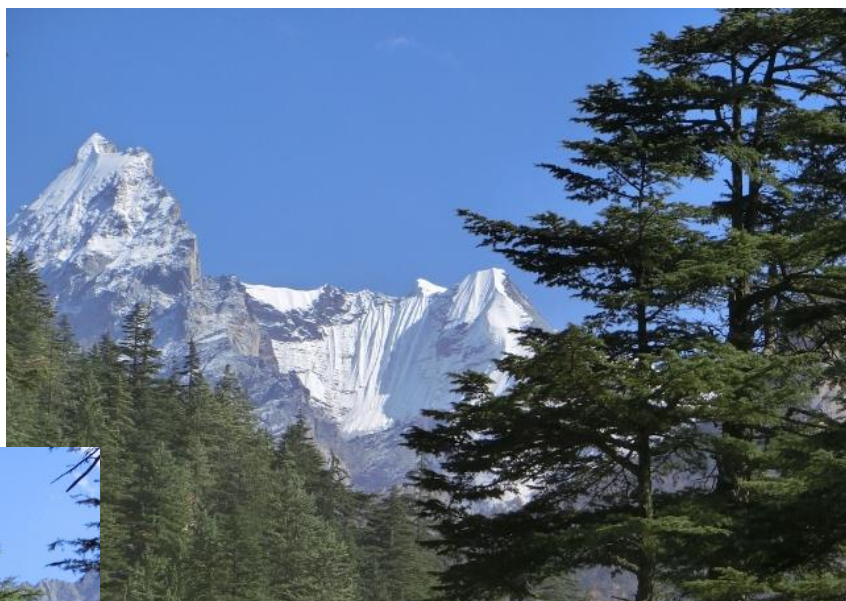
身に沁むや Be Good Do Good

師の教へ

明けやらぬ祈りの道を秋の風



神在す雪のヒマラヤ遙かなる



雪溪のぐんぐん迫る険し道





外一國の蟻もともかく忙しなく

山々に印度の残る虫なりし



ヒンドウの神の祠に
カンナ咲く



早暁の山間の村小鳥来る

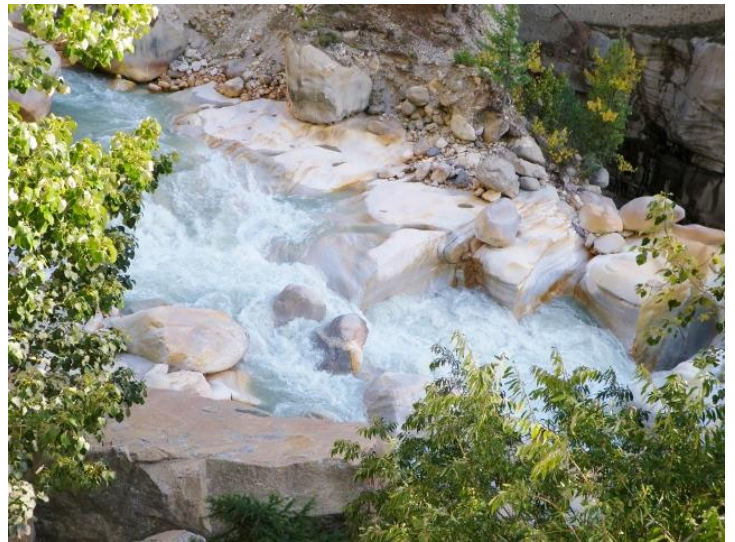




秋の薔薇豪華に山の村貧し



ガンジスのここら激流天高し



あたたかし吾を助くるガイドの手



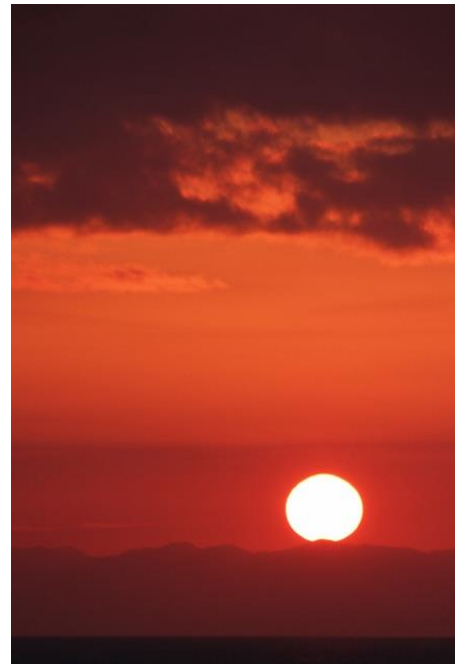


岩壁の切り立つ山路紅葉づれる



山河越えゆく巡礼に秋日濃し

暁の水平線に秋浮かぶ

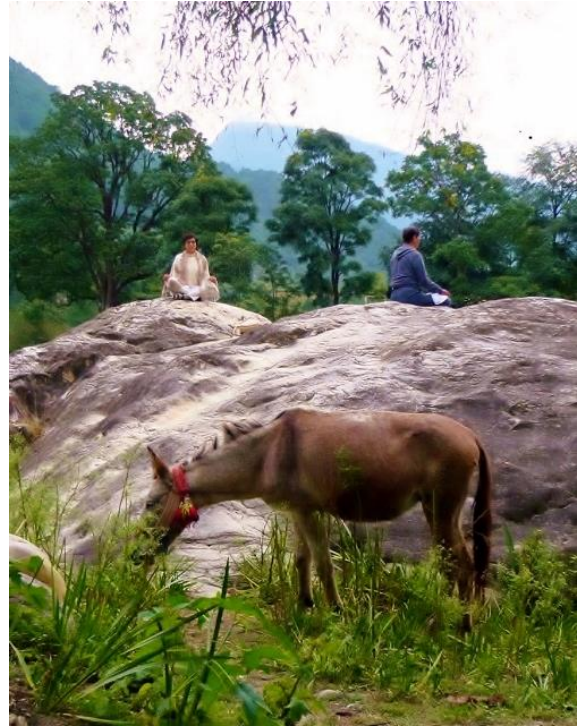


星月夜聖地に鐘の鳴り渡る

ゆきゆけど車窓に尽きず黍畑



羊群を追ふ少年や秋山路



牛糞を壁に張りつけ冬支度



山籠るわが過去映し水澄めり